

びわ湖フローティングスクール所長だより

うみのこ

平成 24 年(2012年)3月発行
滋賀県立びわ湖フローティングスクール
大津市浜大津五丁目1-7
(Tel) 077-524-8225

平成23年度児童学習航海が終了しました



所長 江川 久雄

「夢とロマン」を児童に抱かせた平成23年度の児童学習航海も平成24年2月28日の終航式、3月1日の集団風邪による延期航海の実施をもって全て終了しました。

今年になってからは滋賀県北部の大雪の影響とインフルエンザの流行ということで、いくつかの航海で航路変更や航海日の延期をしました。ある航海では長浜港の「うみのこ」を停泊させる器具の上にもたたくさんの雪が積もりすぎて、雪かきをすることすら危険なため停船することができず寄港地を変更した航海もありました。今年の大雪はすごかったです。

幸い、どの航海も学校の各先生方が児童のために適切な指導と児童が目的意識をしっかり持って乗船してくれたおかげで、当初の目的をしっかりと達成していただくことができました。管理職の先生や指導に当たられた担任等の先生方、保護者の皆様には大変感謝申し上げます。

また、本事業を支えていただいている関係警察署、各地域の病院、関係漁協などの121カ所もある関係諸機関ならびに県民の皆様には、当スクール事業に御理解、御協力を賜りまして誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

今年度、児童学習航海に乗船した児童の参加率は98.7%で14,375名でした。欠席者数は194名になりました。特に今年になってからはインフルエンザの影響で欠席者が増加しました。

そのため児童学習航海で欠席・途中下船した児童を対象とした「湖の子」体験航海(1日航海)の参加申し込み締め切りを延長し、なるべく多くの参加を呼びかけ乗船の機会としました。1日航海では59名の児童が参加しました。

次年度も「湖の子」体験航海(長浜・大津出航)を実施しますので、まだ「うみのこ」に乗船していない児童は、是非、応募してください。滋賀県では、滋賀県の児童全員が「うみのこ」に乗船できることを願っています。

さて、児童学習航海では各航海の振り返りを児童に実施しています。その中に、「フローティングスクールで思ったこと考えたことを書きましょう」という自由記述をするところがあります。

その内容の一部紹介をします。一番多いのが他校の友達のことについての記入です。

「初めは友達ができるかなあと思ったけど、相手の学校の友達から声をかけてくれたので、簡単に友達になりました。本当に友達が簡単にできる『魔法の船』でした」

「フローティングスクールでは友達と仲良くするためにあるとわかりました。それで、すぐに〇〇小の人と友達になりました」

次に多いのがプランクトンウォッチングや水調べのことなどです。

「琵琶湖にプランクトンがあんなにたくさんいるのはすごいと思いました」

「僕はプランクトンウォッチングが楽しかったです。特に琵琶湖の固有種のビワクンショウモを見られて良かったです」

「琵琶湖の水が北湖と南湖であんなに違いがあることは知りませんでした。なぜ、違うのかについてもっと調べてみたいです」

「僕は琵琶湖がかけがえのないものだわかりました」多くの児童がいろんなことを記入しています。「初めての経験したこと」「初めての感動したこと」「ちょっとの自信」「友達の大切さ」「琵琶湖のすばらしさ」などなど、フローティングスクール事業で私たちが願っていることを、児童はいっぱい書き込めないぐらいに記述しています。

これもひとえに関係くださっている先生方の指導によるものだと感謝します。